



11月号

平成27年10月30日

横浜市立東中田小学校

校長 芝 フク代

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 読書の秋

副校長 岩間 洋

晩秋の空に紅葉が美しく映える季節になりました。この季節は気候的に過ごしやすい時期であり、日暮れが早まり夜が長く感じられることから、その時間は読書をするのにふさわしいとされています。

中国・唐の時代の文人である韓愈(かんゆ)が残した詩の中に「燈火(とうか)親しむべし」という一節があります。

その意味は「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長にはあかりをつけて本を読むのに適した季節である」ということで、韓愈が息子に対して勉強を勧めた言葉として知られています。この言葉が「読書の秋」という言葉の由来とされています。

何年も前から子どもの活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。

読書活動はこれらの能力を高めていくだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取り組みとしてますます重要性を増しています。

読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

今の時代は手軽なゲーム機やコンピューターゲーム、スマートフォンなど、読書以外に子どもたちを魅了するものがたくさんあります。

今の社会ではこれらをすべて否定することはできません。ですから、なおさらこれらの使用方法をご家庭できちんと確認しながら、「ゲームもいいけど読書も楽しいよ。」と両者を上手に共存できる方法を探ってみてはいかがでしょうか。

子どもにとって読書は想像力や考える習慣を身に付けるよい機会です。是非ご家庭でも継続して読書を楽しんでください。日頃から本を身近に置き、時間を見つけて読書する習慣を身に付けてほしいと願っております。

子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、東中田小学校では毎週「朝読書」を全校で取り組んでいます。また、PTA 読み聞かせサークル「そらいろのたね」による本や絵本の読み聞かせの活動を火曜日に行っていただいています。

本の読み聞かせは本との出会いの機会を広げ、子どもを本好きにしてくれます。子どもたちは読み聞かせの日をととても楽しみにしています。

横浜市では25年度から市立小中学校で図書を専門に担当する学校司書を配置しています。東中田小学校では今年4月より学校司書が配置されました。

学校司書とは、学校図書館に関する業務を担当する役割をもち、学校図書館の充実を図り、子どもの読書意欲の向上や情報活用能力の育成に寄与することを目的に配置されます。

以前にも学校だよりで紹介しましたが、本校に配置された学校司書は望月 優さんです。図書室の本の管理や貸し出し、書架の整理などの業務や本の紹介、読み聞かせ、授業の補助などを行っています。学校司書が配置されたことにより、子どもたちにとってさらに魅力ある学校図書館になっています。